



# コミュニティ しずおか

2019  
**10**月  
No.156

松野歴史かるた作成委員会の皆さん



カルタで遊ぶ「放課後子ども教室」に参加した子どもたち



## 歴史カルタを活用して地域の活性化

松野地区まちづくり協議会（富士市）

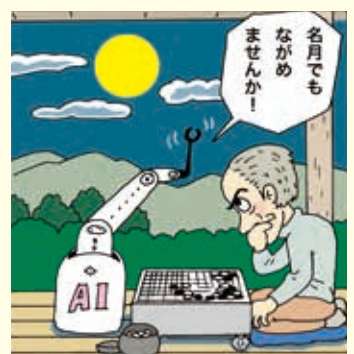
- ▼平成26年、風化しつつある郷土の史跡や伝説を次世代に伝えようと、「松野歴史かるた作成委員会」を有志10人で発足。資料を基に写真集めや古老への聞き取り、現地調査を重ねた。60以上もある史跡の中から地域バランスも考慮し48カ所を選定、絵札の裏には解説を載せ手作りの地図も添えた。
- ▼完成したカルタは、様々な方法で地域に発信し、地域活性の担い手として大いに活用されている。地元の富士川第二小学校の地域学習では、5、6年生が2年間に渡ってガイドと一緒に史跡を巡り、学んだことを版画や劇で発表するなどして、郷土愛を育てている。その他に三世代交流やウォークラリー「かるたで学ぶ松野の歴史」講座がカルタを通じて開催されている。
- ▼富士市内26区に配布した事から、カルタづくりの指導に呼ばれ、いくつかの地区でもオリジナルカルタが完成した。平成31年には、地域住民の要望を受け携帯ガイドブックを作成。48枚の絵札で紹介しきれなかった箇所情報を紹介している。

◇代表：西森共二さん(問合せ・松野まちづくりセンター0545-56-1055)  
【情報提供・齋藤立己】

## Topics トピックス

クローズアップ ..... P2  
地域と共に成長を！（裾野市）

地域訪問記 ..... P6  
今日もよってかまいや！新野の母の店（御前崎市）



コミック  
のじき・りえ

創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。

## クローズアップ



7月12日に開催された「第2回トークフォークダンス」。休憩をはさみながら1時間半開催された

# 「地域と共に成長を！」 ～高校生ボランティアの力をいかして～

裾野市

## 静岡県立裾野高校

富士山東側の山裾に位置する裾野市。その中央部にある裾野高校は、100年を超える歴史を刻んできた。それと共に、近年は、「ボランティア活動を通して地域の方との関わりを深めている」との情報を得た。今回、学校を代表して「ボランティア部」の6人と顧問の先生、そして地域から3人の方にお話を伺った。

### 人とのつながりを広げる ～ファイゴンと共に～

ボランティア部は、部員 31 人で市内

のイベントや高齢者施設訪問、小学生のサマーキャンプなど年間 30 件以上の活動を裾野高校のキャラクター「ファイゴン（地元の名所、五竜の滝から命名）」と共に展開。着ぐるみを着て各所に登場し盛り上げている。（夏は暑いから気をつけてね）

また、ファイゴンをあしらったお菓子を生徒が開発、地元の製菓店が製造し生徒がイベントで販売。収益は裾野市に寄付するなど地域密着の活動をしている。

裾野高校では、「1 部活 1 ボランティア」をモットーに、部活単位でボランティアに参加していることも特徴だ。裾野市では、毎週どこかで裾野高校生のボランティア姿に



大人気のファイゴン！

遭遇できるといっても過言ではない。まさに地域にとっては無くてはならない存在になっている。

## 地域との交歓！ 「トークフォークダンス」

そんな活動に取り組んでいる学校に、頼もしい助っ人が現れた。OBで学校評議員の小田さんである。地域住民と生徒とを更につなぐ仕掛けとして、昨年からはまったのが「トークフォークダンス」。1年生全員と地域の大人が1対1で決められたテーマについて対話をし、フォークダンスのように次々話し相手が入り替わることから名づけられた。

昨年の第1回目は、悪天候に関わらず120人の参加があった。今年は開催にあたり生徒たちが近隣のお宅を訪問し直接参加を依頼。その結果、定員202人を達成できた。計404人が体育館に集合し、「最近の楽しかったこと」「昨年何をしましたか」など何気ないことを語り合う。

「自分の子どもとも話せないことを話せた」「高校生と話すチャンス」と地域住民の反応は上々。生徒も「挨拶を褒められた」「親には言えない事を話した」「またやりたい」と楽しかったようだ。

この進行にはポイントがあり、始める前に「評価はしない」と注意をしている。学校では評価がつきものだが、お互いに評価されないことで安心して対話ができるのだろうと感じた。(地域との関わりがあってこそできるもの、なかなかマネはできないかな)

## これからも一歩前へ

今回取材で印象に残ったのは、人と接するのが苦手だからボランティアをやってみたいと入部した3年生の小松さん



ファイゴンパンを売るするボランティア部



前列左からボランティア部の加藤さん、小松さん、勝又さん(部長)、遠藤さん(副部長)岩崎さん、松縄さん 後列左から顧問の山田先生、評議員の小田さん、参加者の志田さんご夫婦

なトラブルに会っても臨機応変に対処することを学ぶことができたと自信をもって発言する姿だった。(活動を通じて目立たない所に人の支えがあってこそ、一つの事が成り立っていることを実感しての発言なんだな)

トークフォークダンスが実施できたのは、ボランティア活動で培った地域との密接な関係ができてからこそ。平日の昼間にも関わらず200人もの方が参加してくれたことがそれを証明している。「生徒一人ひとりを知ってもらえ、地域の大人が自分たちをどう思っているのか聞くことができる機会を持てるのは教員としてうれしい」と山田先生はおっしゃっていたが、それは参加した大人も同じ気持ちであろう。裾野高校の皆さんが、ボランティア活動を通して学んだことを活かして、イチOBとして更に地域でも一歩前を出て活動を進める事を期待したい。

取材を終えて、磐田市での若者たちの活動取材したことを思い出した。今回と共通しているのは、若さと情報提供者である情報通信員さんの人柄・熱意のようなもの。その力を受け止めて、記事を書くことができるなんてとてもありがたいことです。

◇代表:望月保宏校長  
(問合せ・055-992-1125(裾野高校))

【情報提供・志田瑞代】

レポート・高村 光 編集委員

沼津市

## チーム一丸「お・も・て・な・し演奏会」

夢倶楽部あしたか



- ▼平成元年、コミカレ修了者の会を「夢倶楽部あしたか」と改称し愛鷹地区コミュニティの縁の下の力持ちとして、お祭りのお手伝いやイベントの発案など30年に渡りサポートしている活動団体である。
- ▼平成19年、楽器演奏ができる数名で歌声喫茶風コンサートを行なって以来演奏活動をするようになった。現在22人(男10人、女12人)のメンバーがギター、マンドリン、ミュージックベル、木魚など10種類以上の楽器を使い、地区の寿サロンやクリスマス演奏会を行なっている。演奏に合わせて歌うだけでなく工作や体操などを盛り込み、お客さんは勿論、会員も皆主体的に参加できるよう毎月定例会でアイデアを出し合う。
- ▼ほどよい素人らしさが、親近感を生み双方一体となるライブ感を作り出す。見た人、聞いた人たちが楽器に限らず何か自分の楽しみを1つ始めるきっかけになるとうれしい。週1回の楽しく真剣!な練習が井戸端会議・安否確認の場にもなり互いの絆を深めている。

参加型演奏会、みんなが楽しめる企画となっている

◇代表:小野惣一さん

【情報提供・萩谷 恵】

藤枝市

## 出かけっCAR 高齢者の移動支援

西益津お出かけ支援隊

- ▼去る7月2日、世帯数3,850、高齢化率33%の西益津地区で、高齢者の移動支援をする運転ボランティア「西益津お出かけ支援隊」が本格稼働を始めた。同地区の地区社協が支援者を募り、会員30人が運転者と補助員二人一組となって週5日運行している。
- ▼利用するには、会員登録が必要(審査有り、年会費3,000円)。現在20人が登録し、5班に分かれ週1回、近隣のスーパーへ買い物ができる。車中の移動と買物で約1時間半、利用者からは、「おしゃべりしながら楽しい時間が過ごせる」と喜びの声が上がっている。
- ▼昨年度から地域住民が仕組み作りを研究し、住民主体で高齢者の外出を後押しする藤枝市の「地域支え合い出かけっCARサービス事業」を活用。市から委託を受けた市社協がリース車両の維持管理などを担い、ガソリン代を除く維持費などは市が補助している。



◇代表:青木喜男さん(問合せ・054-643-9558)

【情報提供・大石幸雄】

現在は買物移動にかざられている

菊川市

## だれでも食堂かいてんしま〜す

セカンドライフ  
マスターズクラブ



- ▼菊川市西方にある龍雲寺で、2カ月に1回、家庭の事情で満足いく食事が取れない、家族がいても「孤食」にならざるを得ない人のために、世代を超えた交流の場、安心・安全な居場所を提供しようと「だれでも食堂」が開店する。平成29年、菊川市市民協働センター主催の地域活動を始めたいシニアの講座「セカンドライフセミナー」に参加した村松代表の「自宅を開放し、子ども食堂をやりたい」という思いに賛同した仲間10人で活動を開始。主にカレーを提供している。
- ▼参加費はお菜銭100円。チラシを回覧しているので、毎回50~80人が菊川市内からやって来るが、本来のターゲット層にまだまだ思いが届いていないと感じている。一方「食事作りに掛かる時間を別の事に使えるのでありがたい」と忙しいお母さんから感謝の言葉があった。地域住民が気軽に集って交流し子育て世代の親子がほっとできる場であっても良いとも考えている。

誰でも参加しやすい雰囲気づくりを大切にしている

◇代表:村松小鶴枝さん(問合せ・0537-35-2939)

【情報提供・笠原活世】



森町

## ランチ300円。癒しの交流の場「森のこかげ」

森町元気もりもり  
サポーター



スタッフとおしゃべりもここに来る楽しみのひとつ

▼毎週月金になると、森町健康福祉センター近くにある「森のこかげ」から、いい匂いと笑い声が聞こえてくる。住民同士の交流の場を提供するこの居場所は、町主催のボランティア講座修了者で立ち上げた。現在、精鋭女性8人(平均年齢76.5歳)が運営している。森のこかげでは、食事ができるようにと毎回30食余りを愛情込め手づくりしている。また、食事提供の他に手芸教室や交通安全教室、クリスマス会やバスツアー等も企画実施している。

▼平成26年、包括支援センターが用意してくれた空店舗の家財道具の処分から始まった活動も今年で6年目を迎える。スタッフの高齢化や補助金の減額など、正直厳しい状況ではあるが、地域の方から野菜等の寄付をいただき助けられている。「利用者の笑顔を見ると励みになる。やめられない」と代表は言う。

▼固定客が多く、独居高齢者の方がしばらく見えない時は包括支援センターへ連絡。利用者間の見守り活動につながっている。

◇代表: 柴 美重子さん(問合せ・090-2922-6808)

【情報提供・山田勝恵】

浜松市

## 未来に残すべきは、良い環境と地域コミュニティ

NPO法人水辺の里  
まちづくりの会

▼南区河輪町横を流れる天竜川の河川敷「水辺の楽校」は、地域住民の憩いの広場として、小学校の自然体験環境教育の場として親しまれている。

きっかけは、平成23年東日本大震災発生を受け、町内で話し合いをしたところ「地域のつながりを大事にしなければならない」と意見が出た。まず、何かやってみようと、当時不法投棄で鬱蒼としていた河川敷の整備を河川事務所に訴え、その後管理を引継ぎ今年で9年目を迎えた。現在、河輪町有志25人(平均年齢70歳)で河川敷を見守っている。

▼会では、自然保護・保全の活動を通じて地域の大人たちと触れ合い、地元の川を知ることは、地域のつながりを深める一つと考えている。ありがたいことに地区内小中学校との協働による草刈りや清掃活動、自然体験環境教育など学校行事に組み込まれている。「水辺の楽校」をシンボルとして地域のつながりの再生に取り組んでいる団体である。



中学生との清掃活動、年々ゴミが減っている

◇代表: 井柳 誠さん(問合せ・053-426-4429)

【情報提供・佐藤勝彦】

### 地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます (アドレス <http://www.sizcom.jp>)

No.	市 町	活 動 名	主 催 者	趣 旨・目 的	月 日
1	松崎町	お寺は学ぶ心を育む場 帰一寺でらこや	宗教法人 帰一寺	夏休み期間を利用し子どもたちに学びの場を提供。	令和元年8月10日(土)
2	伊豆市	静岡県が提唱した「伊豆新世紀創造祭」 に基づく修善寺の経営	ノスタルジックロマン修善寺 推進委員会	修善寺の価値を明らかにして、担っていく人を育成。	通年
3	三島市	芙蓉台自治会活動	芙蓉台自治会	住民同士がふれあい、絆が深まることを目指す。	通年
4	富士宮市	半世紀にわたる短歌同好会	富士宮短歌会	地域文化活動の一つとして、現代短歌の新しい愛好 家者を増やす。	毎月第2木曜日
5	焼津市	失敗大歓迎! ふまねっと運動で介護予防	ふまねっと焼津	ふまねっと運動で健康づくりと仲間づくりを推進する。	月2回
6	島田市	次世代に誇れる川根を残したい 青年団が続ける音楽フェス 「KAWANE夏祭り@BIG NATURE」	KAWANE夏祭り@BIG NATURE実行委員会	地元の若者に、地域の魅力やコミュニティの力を再 認識させる。	令和元年8月4日(日)
7	島田市	水難犠牲者を慰霊する笹和会の灯籠上げ	笹久保中老会 笹和会	融和協調、地域の活性化と行事の継続	令和元年8月13日(火)
8	御前崎市	チャリティ文化展	御前崎市文化協会	明るく豊かなうるおいある文化活動の向上を図る	令和元年7月21日(日)
9	掛川市	通信制高校が移動販売車でLet's GO!	FOOD TRUCK 365	移動販売トラックで人との関わりを学び、通信制高 校生たちに就労体験。	月2回 不定期
10	磐田市	お互いさまのところが通う南みくり	南御厨地域づくり協議会 通学合宿ボランティアグループ	さまざまな国の人が住み、変わりつつある地域で育った 子供たちのふるさとでの思い出をつくる。	令和元年 6月13日(木)~15日(土)
11	湖西市	子どもの居場所づくり、楽しく元気よく!	ふれんどサークル	放課後家に誰もいない子どもたちのために場所を提供。	週1回

# 地域訪問記

長く続いている団体を紹介します。

7人の調理担当者が  
家庭の味を届けています



たくさん笑い  
元気になって  
帰ってもらう

必要な物が  
一通りそろって  
いる店内



## 今日もよってかまいや！新野の母の店

### NPO法人よってかまい（御前崎市）

「おんな城主直虎」の伯父、新野左馬之助のふるさと御前崎市新野で、食料品店を運営しながら宅配弁当と食事提供をしている団体を訪ねました。

訪問時5、6人の方が話をしていた。スタッフかと話しかけるとお昼を食べに来ていた方々で「一人よりここで喋りながら食べた方が美味しいだよ」と、どの顔も笑顔いっぱいです。

#### 「困ったや〜」地元の商店消滅

平成23年、お惣菜も販売していた唯一の商店である魚屋が、設備の老朽化で閉店することになり、お年寄りの「困ったや〜」の声に買い物弱者の支援をしようとコミュニティカレッジ修了仲間（当協議会主催の講座）の横山貴子さん、西島一恵さん、齊藤和江さんが、同年5月に出店を決断。とはいえ、何からやって良いか分からず、引継いだ店の古い冷蔵庫の取り外し、下水の掃除と皆さんの力を借りながら無我夢中で同年7月に開店。その後、建物の老朽が進み「5年間もてばいい」と思っていた事もあり閉店を考えます。そんな思いに地元の人が頷くはずありません。存続を望む声に「なんとかやらない」と令和元年5月、自分たちの資金で旧店舗近くの土木会社の旧事務所に移転オープン。現在、平均年齢72歳のスタッフ15人で運営、調理、宅配を行っています。

#### 「今日もよってかまいや〜」誰もが気楽に寄れる場

旧店舗にもテーブルが1台あり、惣菜を食べていく方や買い物ついでに座って話をしていく方がいました。お店で誰かと会話を交わし、元気になって帰る高齢者を見て「新店舗は皆の居場所を作りたい」それが1番の望

みだったそうです。

居場所スペースにはステージも設けられ、時には食事しながらどじょうすくいを楽しめます。食事に来た人たちでお手玉遊びをしたり、今度は〇〇しようとアイデアを出し合う。「よってかまい」名の通り、誰もが気楽に「今日もよってかまいや」と誘い合って集まる場所になっています。

予約制で始めた食事は1食500円。おかずは5〜7種類で野菜たっぷり。宅配20食、居場所10食の計30食程を作っています。安心安全な惣菜や弁当は人気があり訪問時には全て売り切れていました。

#### 「何もいらん」おいしかったの言葉が嬉しい

今後の目標を聞くと「これ以上やることはない。だけど求められたものはやる」そして「褒めてもらおう、行政から称賛されたい訳ではない、何もいらん。“美味しかったよう”の言葉が嬉しい」と、その言葉が、その気持ちが、多くの人を集め信頼を得て活動の場も広がっていると感じました。

横山さんは朝起きると「ここに来なければという気持ちになる」と言い、西島さんの当日野菜を見て考えると惣菜のレパトリーの多さ、笑顔で「同じメニューでも味が変わるの」と話すそんな二人の言葉から、よってかまいに新野の母を見た。新野の母たちは当たり前の顔をして地域を照らし人々を笑顔にしています。

◇代表：横山貴子さん（問合せ・0537-86-7517）

【情報提供・五島加津子】



レポート：市川頼子 編集委員

# 私たち、 静岡県立大学環境サークル CO-CO と申します

地域で共に活動し学んでいます!

2010年から静岡市清水区大内地区に入って活動している大学生サークルCO-COさん。地域の中でどのような取り組みをされているのでしょうか…。



## 2010年から大内地区へ

前回は書かせていただいた通り、CO-COは竹林再生プロジェクト大内の皆さんや地域の皆さんが受け入れてくださったおかげで現在も大内地区での活動ができています。しかし交流を始めた当初から受け入れていただけたわけではなく、最初は断ろうかと思っていたという話を伺ったことがあります。見ず知らずの大学生であったということはもちろんですが、竹林整備に参加するという事は急な斜面を上ったり、足場の悪い中で刃物を扱ったりすることもあります。他にも危険が伴う作業であるため、万が一怪我をさせてしまったらという心配があったそうです。それでもCO-COの熱意や新しいことに挑戦してみようという思いから、最終的には受け入れていただき、少しずつ関係を築いていきました。ですか



大学生向けワークキャンプ

ら、不安な要素も多い中で受け入れてくださった皆さんにはとても感謝をしています。

## 私たちの活動紹介

そんな大内地区でCO-COがこれまでに行ってきたイベントの一部を紹介したいと思います。1つ目は大学生へ向けたワークキャンプです。こちらは一般の大学生に1日を通してCO-COの活動を体験してもらう目的で行っており、一緒に整備体験や野外炊事を行うことで、普段自然との関りが無い人にも環境問題や自然の楽しさを知ってもらうことのできるイベントになっています。2つ目は地元の小学生を対象に行っている、ほっこり里山チャレンジ隊です。こちらは自然の中で遊んだり、竹を使った工作をしたりすることで子供たちが地元の自然との触れ合いを通じて、地元の自然を大切に思ってもらい、地元をもっと好きになってほしいという思いがあります。3つ目は草薙の茄兵衛というお店の駐車場で毎月最終日曜に行われている草薙マルシェというイベントに定期的に出店させていただいています。ここでは大内で切った竹で工作した箸やアクセサリなどの製品を販売したり、活動紹介を行ったりすることで一般の方々にも大内地区のことや環境のことについて知ってもらう場となっています。このような様々なイベントを通じて活動を外部へと伝えているのです。

## ..... コミカシ終了! 今後の活躍を期待します! .....

通算40回目となる本年度の「コミュニティカレッジ」が9月7日に終了しました。

男性28人、女性7人、計35人が修了し、昭和55年の第1回目からの修了者は、2,317人となりました。

これからの地域での活動を期待します。



望月先生: 実施計画書づくりにてプレゼンする受講生



守本先生: 話し合いの進め方

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ



### ★アフター研修会と東部支部研修会を 合同で開催します！

「地域と住民をつなぎ、歴史文化を次世代につなげる」

日時：10/19（土）10：00～15：00

会場：熱海市 世界救世教救世会館 参加対象者：地域活動に興味のある方

参加費：無料（昼食代 1000 円）タオル持参 定員：先着 100 人

★プログラムについてはHPをご覧ください。

### ★コミュニティ活動賞募集中！！

#### 応募の対象と条件

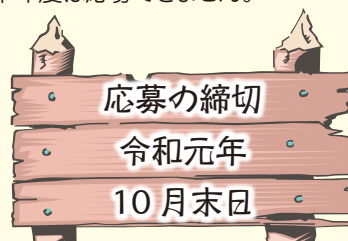
- 1、今日的な生活課題、例えば、地域の活性化、高齢者問題や子育て支援、自然環境の保護・保全などの快適な生活環境整備、青少年の健全育成、ゴミ減量やリサイクル活動、国際交流などのテーマに取り組み、生き生きとした明るい地域社会の形成に向けて活動しているもの。
- 2、活動（組織）が発足して、1年以上を経過したものとします。
- 3、中学校区の範囲を越えない区域を原則としますが、一定の範囲の区域で活動することを規定している団体であれば対象とします。
- 4、過去5年間（平成26年度以降）にこの「コミュニティ活動賞」で優秀賞、優良賞を受賞された地区集団については、本年度は応募できません。

#### 賞

- 優秀賞……賞楯と記念品
- 優良賞……賞楯と記念品
- 奨励賞……賞状

#### 発表

令和元年 12 月初旬（応募者に直接通知します）



### コミカレねっとわーく 支部研修会のお知らせ

● 中部支部  
10月12日（土）  
藤枝市青島北地区交流センター

● 西部支部  
10月26日（土）  
御前崎市佐倉公民館



### ★コミュニティづくりの基礎、話し合いの仕方を 学んでみませんか

○出張コミカレ伊東 11月9日（土）、10日（日）

会 場：伊東市健康福祉センター

対象者：伊東市とその周辺市町にお住まいの方、コミュニティづくりに興味のある方

★プログラムについてはHPをご覧ください。

○出張コミカレきくがわ 12月15日（日）、22日（日）

会 場：菊川市プラザけやき

対 象：菊川市とその周辺市町にお住まいの方、コミュニティづくりに興味のある方

★プログラムについてはHPをご覧ください。